

遺伝子組換え（GM）作物は25年以上にわたって人や動物によって消費されていますが、健康や安全性上の問題は一件も確認されていません。

しかし、世界の規制は必ずしも同じではないため、開発者や農家から消費者に至るまで、全ての人々に対して商品化の遅れが起こっています。

なぜ規制のあり方を見直す必要があるのか、その理由を探ってみましょう。

## 安全であるという証明

### 4000以上

70か国において認可されているGM作物（1992～2018）\*。

### 2億6000万ドル

2003年に市場に投入されて以降、北米の消費者によって2億6000万ドル（1億1800万kg）以上のGMパパイヤが消費されています\*\*\*。



### 拒否0件

安全性の懸念に基づく認可の拒否は0件です。



人や動物に対する健康面や安全性への影響について報告のない

### 何兆食もの食事

## 機会損失

### 40～140億ドル

中国では害虫抵抗性トウモロコシの商品化が遅れるたびに、経済全体で年間40億～140億ドルの損失が発生していると推定されます。\*\*\*



### 1億1500万ドル

窒素効率の高い新規イネの規制認可が5年遅れた場合、ガーナ経済に1億1500万ドルもの損失を与える可能性があります。\*\*\*\*

しかし、規制上の問題が遅延を起こしています



規制や登録に伴う時間およびコストは、過去10年間で50%増加しました。



### 13年

GM作物の認可までにかかる平均的な期間は13年と、新薬（12年）や飛行機（8.5年）よりも長い期間が必要です。

## GM作物のデータ要求事項の調和によるベネフィット：



### 規制機関

将来のGM作物導入のための枠組みを提供しつつ、リソースをトレーニングなどの分野に集中させることができます。



### 消費者

安全で安定した食料供給、価格の低下、栄養価を高めた栄養成分強化食品が入手でき、また、保存可能期間の延長により食品廃棄物を削減できます。



### 農家

収量の増加と、天然資源を保護し気候変動への対策となる持続可能な慣行の利用により、所得が向上します。



### 開発者

重複する規制関係書類にかかるリソースを研究開発に割り当てられます。

ISAAA. (2018). Global status of commercialized biotech/GM crops in 2018: Biotech Crops Continue to Help Meet the Challenges of Increased Population and Climate Change. In ISAAA brief (Vol. 54). ISAAA: Ithaca, NY.

\*\*Xie, W., Ali, T., Cui, Q., and Huang, J. (2017). Economic impacts of commercializing, insect-resistant GM maize in China. China Agric. Econ. Rev. 9 (3), 340–354.

Doi:10.1108/CAER-06-2017-0126 \*\*\*<http://www.hawaiipapaya.com/#superhero-powers>

\*\*\*\*Estimation from Dzanku et. al (2018), IFPRI/STEPRI